

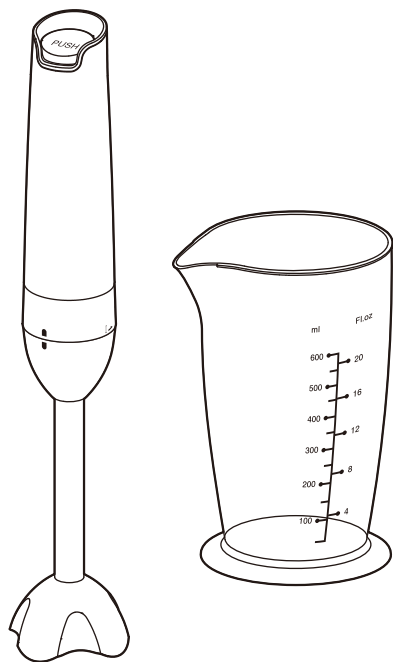
Votre

## 取扱説明書・保証書

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途で使用しないでください。  
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

# ハンドブレンダー YHBA-S120



## もくじ

■ 安全上の注意	1～4
■ 各部の名称	5
■ 知っておいていただきたいこと	6～7
■ 使いかた	
● 食材の準備	8
● 食材を入れる	8
● 本体をブレンダーに取り付ける	9
● 電源プラグを家庭用コンセントに差し込む	9
● 調理する	10
● 調理物を取り出す	10
■ 調理例と運転時間の目安	11
■ 調理アドバイス	12
■ お手入れと保管	12～15
■ 仕様	15
■ 故障かな?と思ったら	16
■ 点検のお願い	17
■ アフターサービスについて	17
■ MEMO	18
■ 保証書	裏表紙

この製品は、海外では使用できません。  
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社ハンドブレンダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
- 使用する前に、この取扱説明書を必ずよく読み正しく安全に使用してください。
- 読んだあとは、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ

**YAMAZEN BOOK** を  
チェック!



随時情報を更新中!

# 安全上の注意

使用する前に「安全上の注意」をよく読み、必ず守ってください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しく使用するためや、使用する人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



## 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は、禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。



●記号は、強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※読んだあとは、使用する人がいつでも手に取れる場所に、必ず保管してください。



## 警告

### ■ 電源コード・電源プラグについて



電源プラグは、根元まで確実に差し込む

指示に従う

●発熱・感電・火災の原因になります。



定期的に電源プラグのホコリをふき取る

指示に従う

●電源プラグにホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。

◎電源プラグのホコリは、乾いたふきんでふき取る。



破損、故障、異常があったり、電源コードや電源プラグが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

指示に従う

●けが・感電・火災の原因になります。

※故障・異常例

17ページの「点検のお願い こんな症状はありませんか?」を参照して異常があるときは、直ちに使用を中止する。必ず電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検や修理を依頼してください。



禁止

家庭用コンセント (AC 100V) 以外での使用、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

●家庭用コンセント (AC 100V) 以外で使用するると故障したり、延長コードやタコ足配線で定格を超えると、コンセントや配線器具が異常発熱して、火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んでいた、差し込みがゆるいときは、使用しない

●ショート・感電・火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねて使用しない

●ショート・感電・火災の原因になります。

◎使用するときは、必ず結束バンドを外して、電源コードをのばす。



禁止

電源コードの上に、重いものや本体をのせたり、挟み込まない

●ショート・感電・火災の原因になります。



プラグを抜く

使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く









●けが・感電・漏電・火災の原因になります。

# 警告









## ■ 使用場所について

 <p>水や蒸気が本体にかかる場所、水にぬれた場所、湿気の多い場所で使用しない ●ショート・感電・火災の原因になります。</p>	 <p>可燃性ガスや引火性のもの（ガソリンやシンナーなど）がある場所で使用しない ●爆発・火災の原因になります。</p>
--	---

## ■ 使用について




 <p>分解、修理、改造をしない ●けが・感電・火災の原因になります。 ※修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。</p>	 <p>子供や取り扱いに不慣れな方だけで使用しない 乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない ●けが・感電の原因になります。</p>
 <p>すき間や開口部に、金属物や異物を入れない ●けが・ショート・感電の原因になります。</p>	 <p>子供や取り扱いに不慣れな方だけで使用しない 乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない ●けが・感電の原因になります。</p>
 <p>食材を調理する以外の目的で使用しない ●破損・故障・けがの原因になります。 ◎食材以外のもの（スプーンや箸など）をボトルに入れて運転しない。</p>	 <p>ブレンダーを取り付けたり、取り外したり、製品を持ち運ぶときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●けが・ショート・感電の原因になります。 ◎運転中に取り外したり、持ち運ばない。</p>
 <p>運転中のブレンダーカッターは、危険なので絶対に触れない ●けがの原因になります。</p>	 <p>やわらかく容易に変形する袋やシリコン製のボウルなどで使用しない ●変形・破損・けがの原因になります。</p>

## ■ お手入れ・保管について






 <p>お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●けが・ショート・感電の原因になります。</p>	 <p>ブレンダーカッターは、鋭利なので直接手で触れない ●けがの原因になります。 ◎ブレンダーを取り付けたり、取り外したり、お手入れをするときは、カッターに注意する。</p>
 <p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない ●ショート・感電の原因になります。</p>	 <p>ブレンダーカッターは、鋭利なので直接手で触れない ●けがの原因になります。 ◎ブレンダーを取り付けたり、取り外したり、お手入れをするときは、カッターに注意する。</p>
 <p>本体や接続部を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない ●ショート・感電・火災の原因になります。</p>	 <p>お手入れのときは、必ずゴム手袋を着用する ●けがの原因になります。</p>
 <p>包装用ポリ袋は、子供の手の届かない場所に保管する ●誤って顔にかぶったり、巻きついたりして、窒息する原因になります。</p>	 <p>各種スプレー（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を吹きつけない ●本体内部にガスが滞留するなどして、爆発・火災の原因になります。 ●変色・変質・破損の原因になります。</p>

# ⚠ 注意







## ■ 電源コード・電源プラグについて

 <p><b>電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない</b></p> <p>● ショート・感電・火災の原因になります。 ◎ 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持つ。</p> <p>禁止</p>	 <p><b>電源コードを持って本体を引っ張らない</b></p> <p>● 設置場所が傷ついたり、ショート・感電・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p><b>電源プラグを抜き差しするときは、必ず運転が停止してからおこなう</b></p> <p>● 故障・けがの原因になります。</p> <p>指示に従う</p>	

## ■ 使用場所について









 <p><b>油、油煙、金属粉が発生する場所（厨房や工場）やホコリの多い場所で使用しない</b></p> <p>● 変質・変形・感電・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p><b>安定した水平な場所で使用する</b></p> <p>● 落下や転倒して、破損・故障・けがの原因になります。 ◎ 不安定な場所で使用しない。</p> <p>指示に従う</p>
 <p><b>火気や熱源（コンロや暖房器具など）の近くで使用しない</b></p> <p>● 変質・変形・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p><b>直射日光が当たる場所に長時間置かない</b></p> <p>● 変色・変形の原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p><b>壁や家具の近くで使用しない</b></p> <p>● 食材が飛び散り付着すると、変色の原因になります。</p> <p>禁止</p>	

## ■ 使用について




 <p><b>業務用に使用しない</b></p> <p>● 無理な負担がかかり、破損・故障・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p><b>犬や猫などがいる部屋で使用するときは、十分注意する</b></p> <p>● 本体や電源コードを傷め、故障・感電・火災の原因になります。</p> <p>指示に従う</p>
 <p><b>ブレンダーの取り付けは、確実におこなう</b></p> <p>● ブレンダーが外れたり、故障・けがの原因になります。 ◎ ブレンダーを取り付けていない状態で運転しない。</p> <p>指示に従う</p>	 <p><b>加熱調理中の鍋の中で使用したり、熱湯や煮え立った食材に使用しない</b></p> <p>● 破損・故障・やけどの原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p><b>ふきこぼれの原因になるので、40℃以上の熱い食材をボトルに入れない</b></p> <p>● 故障・やけどの原因になります。 ◎ 食材は、常温に冷ましてから入れる。</p> <p>禁止</p>	 <p><b>柑橘類の皮を入れない</b></p> <p>● 変色・変質・破損の原因になります。</p> <p>禁止</p>

# 注意

## ■ 使用について つづき

 <p>禁止</p>	<p><b>カラ運転や極端に少ない食材で運転しない</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●上手に調理できなかつたり、故障の原因になります。</li></ul>	 <p>指示に従う</p> <p><b>うなるような運転音がしたり、カッターの回転が遅いときは、直ちに運転を中止する</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●故障・けがの原因になります。</li><li>◎調理禁止食材を、調理しない。 (7ページ参照)</li></ul>
 <p>禁止</p>	<p><b>1分以上の運転はしない</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●故障の原因になります。</li></ul> <p>※定格時間は、1分です。</p> <p>連続運転または間欠運転した時間の合計が1分になったら、15分以上休止してください。</p>	
 <p>禁止</p>	<p><b>ボトルを冷凍庫や冷蔵庫に入れない</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●破損の原因になります。</li><li>◎急激な温度変化を与えない。</li></ul>	 <p>指示に従う</p> <p><b>運転するときは、ボトルをしっかり持って運転ボタンを押す</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●食材がこぼれたり、破損・けがの原因になります。</li><li>◎ブレンダーは、運転したままボトルに入れたり、出さない。</li></ul>
 <p>禁止</p>	<p><b>ボトルを電子レンジやオーブンレンジで使用しない</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●変形・破損・やけどの原因になります。</li></ul>	
 <p>指示に従う</p>	<p><b>持ち運ぶときは、本体、ブレンダー、ボトルをしっかり持っておこなう</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●破損・故障・けがの原因になります。</li></ul>	 <p>禁止</p> <p><b>落としたり、強い衝撃を与えない</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●破損・故障・けがの原因になります。</li></ul>

## ■ お手入れ・保管について

 <p><b>お手入れには、シンナー、ベンジン、漂白剤、柑橘系の洗剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面を使用しない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●傷・変質・破損の原因になります。</li> <li>◎お手入れは、12～15ページの「お手入れと保管」を参照する。</li> </ul>	 <p><b>使用後は、毎回お手入れをする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●食材や調理物が残ったままにすると、色素やにおいが取れなくなったり、変色・破損の原因になります。</li> </ul>
 <p><b>お手入れで食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使用するときは、使用できる部品と使用できない部品をよく確認する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●変色・変形・破損の原因になります。</li> <li>※食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使用してお手入れ可能な部品などについて詳しくは、14～15ページの「食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使用する」を参照してください。</li> </ul>	

# 各部の名称

## 本 体

### 運転ボタン

(ワンボタン構造)

- ボタンを押すだけの簡単操作で運転できます。  
押している間だけ運転します。

本体

合わせマーク

接続部

電源コード

電源プラグ

## ブレンダー

接続部

合わせマーク

ガード

ガード内側

ブレンダー  
カッター

## ボトル

最大目盛り

最小目盛り

- 本書は、イラストを用いて説明しています。  
実際の製品とは、多少異なることがあります。

# 知っておいていただきたいこと

## 必ずお守りください（運転時間）

### ■ 1分以上の運転はしない

#### ● 定格時間は、1分です。

※連続運転または間欠運転した時間の合計が1分になったら、15分以上休止してください。必ず定格時間と休止時間を守って使用してください。故障の原因になります。

## 運転が途中で停止したときは（モーター保護装置について）

※運転が途中で停止したときは、すぐに運転ボタンから手を離して下記の対処をおこなってください。

運転ボタンを押したままにしたり、何度も押し直したりしないでください。

### ■ 食材に強く押し当てたり、食材が大きすぎたり、多すぎたり、調理禁止食材（7ページ参照）が入っているとモーターに負荷がかかり、モーター保護装置が働いて運転が停止します。

これは、モーターを保護するために一時的に運転を止めているもので、故障ではありません。

※運転が停止したときは、下記①～④の手順で対処して運転を再開してください。

① 電源プラグをコンセントから抜きます。

② 食材を一度取り出して、運転が停止する原因となった食材（調理禁止食材など）を取り除いたり、大きさや量を調節します。

● 食材が大きいときは、小さく切り直します。

● 食材が多いときは、減らします。

● 調理禁止食材が入っているときは、取り除きます。

③ 15分程度休止します。

④ 電源プラグをコンセントに差し込み、運転ボタンを押します。

※運転が停止したときは、上記の手順で必ず対処をおこない、15分程度休止をしてください。

対処や休止をしないで使用すると、再度運転が停止したり、故障の原因になります。

## 使用する前に

※はじめて使用するときは、「お手入れと保管」を参照してブレンダーとボトルを水洗いしてください。

## 調理したあとは

※食材によっては、食材の色素やにおいがボトルに付着することがあります。

色素の染みつきやにおい残りを軽減するために、調理後は速やかにお手入れをしてください。

調理物をボトルに入れたまま長時間放置したり保存すると、色素やにおいが落ちなくなることがあります。



# 知っておいていただきたいこと

## 必ずお守りください（用途 / 調理禁止食材）

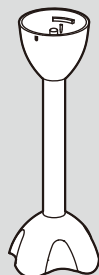
※本製品には、調理禁止食材がありますので、下記をよくご覧になり  
禁止食材を調理しないように注意してください。  
調理禁止食材を調理すると、故障・破損・けがの原因になります。

### ブレンダー

#### ■ 用途

ブレンダーは、食材を細かくきざんで液体とまぜたり、つぶす（切りつぶす）ときに使用します。

野菜や果物を液体とまぜて、ジュース、ペースト、離乳食などを調理することができます。



#### ■ 調理禁止食材

冷凍した食材	×	冷凍した野菜や果物 など
かたい食材	×	乾物類、大豆、コーヒード、氷 など
肉や魚介類	×	ミンチ、ハンバーグや餃子のタネ、つみれ など
粘りけの強い食材	×	納豆、長いも、じねんじょ、つくねいも、いちよういも、アロエ、お菓子やパンの生地、水あめ など
水分の少ない食材	×	ゆでたじゃがいも など <small>ゆでたじゃがいもだけでは調理できません。 食材に液体を足して調理するペースト やポタージュなどは調理可能です。</small>
繊維質の食材	×	しょうがやウコン など
柑橘類の皮	×	みかんやレモンなどの皮（リモネン成分を含むもの）



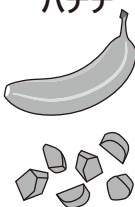
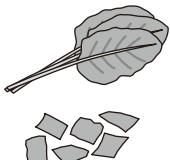
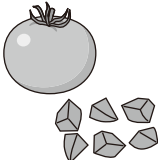
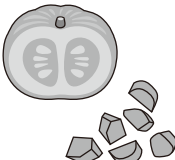

# 使 い か た

## 食材の準備

やわらかい食材は2cm以下に切り、かたい食材は1cm以下に切るなど下準備をしてからボトルに入れます。

食材をできる限り小さく切ると、上手に調理ができます。

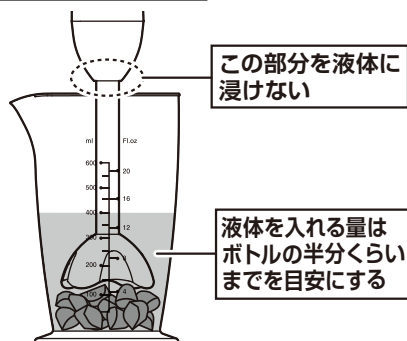
下準備をしないで調理すると、運転が停止する原因になります。

バナナ	葉菜類 (ほうれんそうなど)	果菜類 (トマトなど)	果菜類 (かぼちゃなど)	根菜類 (にんじんなど)
				
皮をむいて 2cm以下に切る。	よく洗って 2cm以下に切る。	へたを取り除き、 2cm以下に切る。	皮をむいて種を取り 除き、2cm以下に 切ってゆでる。	皮をむいて2cm以下 に切ってゆでる。

## 食材を入れる

- 準備した食材を、ボトルに入れます。

液体を入れるときは



### 注 意

※液体を入れすぎると、運転したときにあふれることがあります。

### ボトル以外でも調理できます

- ボトル以外に、お手持ちのボウルなどを使用しても調理できます。

※ただし、使用できるものと使用できないものがありますので、下記を参照して注意してください。

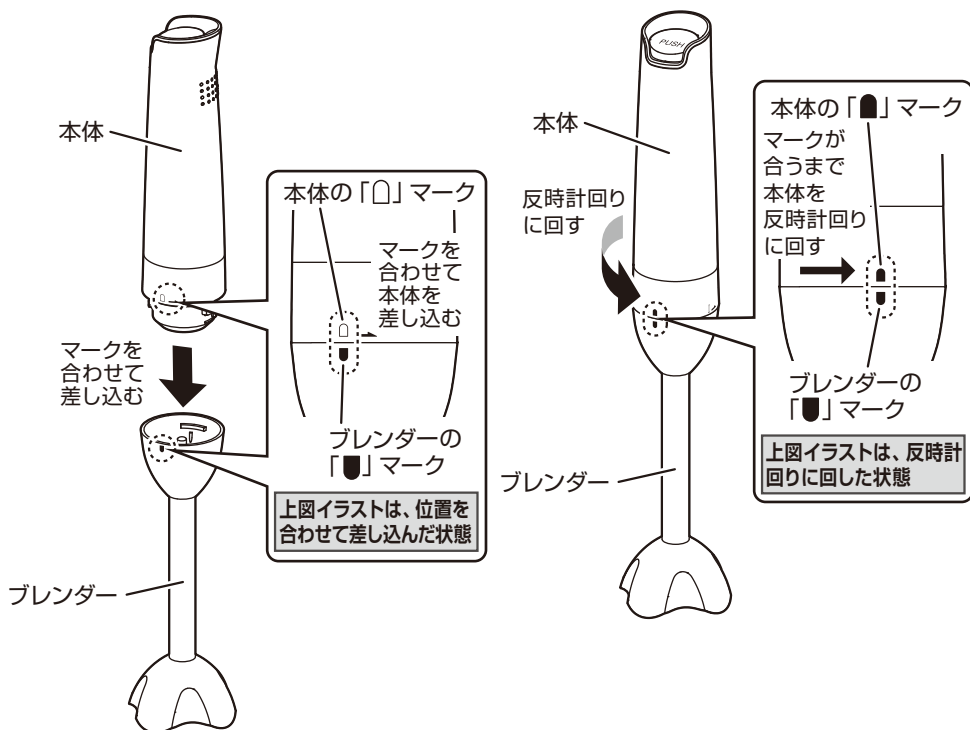
**使用できるもの** 金属製やプラスチック製のもの

**使用できないもの** ガラス製(耐熱性、強化性を含む)や陶器などの割れやすいもの、袋やシリコン製などの破れやすかったり、やわらかく変形するもの

# 使 い か た

## 本体をブレンダーに取り付ける

- 本体の「□」マークをブレンダーの「■」マークに合わせて、本体を差し込みます。
- 本体の「■」マークがブレンダーの「■」マークに合うまで、本体を反時計回りに回して取り付けます。

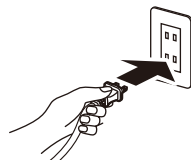


※ 本体を回すときは、途中で一度軽く止まりますが、回らなくなるまで確実に回して取り付けてください。  
確実に取り付けしていないと、運転中にブレンダーが外れたり、故障の原因になります。

## 電源プラグを家庭用コンセント (AC 100V) に差し込む

- 電源プラグを家庭用コンセントに、根元まで確実に差し込みます。

必ず結束バンドを外して、  
電源コードをのぼす



# 使 い か た

## 調理する

- ボトルをしっかり持って、ブレンダーを食材に軽く押し当ててから運転ボタンを押します。  
※強く押し当てないように注意してください。
- ブレンダーを小刻みに動かしながら運転します。
- 運転ボタンを押している間だけ運転します。  
運転ボタンを押したり、離したりすることで間欠運転ができます。

### 注意

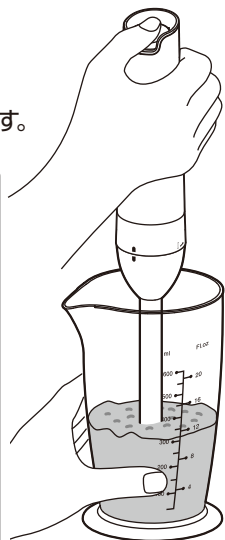
※液体が多いときや運転中は、本体を上下に大きく動かしたり、大きく傾けたり、ガード部を液体面から出さないでください。

食材が飛び散ったり、あふれる原因になります。



※食材がブレンダーカッターに引っかかって運転が停止したときは、運転を中止してブレンダーをふきんなどの上に置いて、必ず電源プラグをコンセントから抜き、引っかかった食材を取り除いてください。

無理に運転すると、モーター保護装置が働いて運転が停止したり、故障の原因になります。



運転中は、  
ボトルを  
しっかり  
持つ。

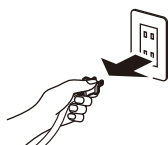
1分以上の連続運転や  
間欠運転をしない

### お知らせ

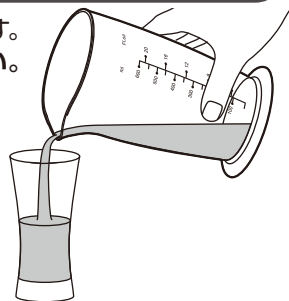
- 構造上切りつぶせずに食材が残ることがあります。
- ジュースなど液体が多いものを調理すると、ブレンダーがボトルの底面に吸い付くことがあります。  
吸い付いて調理しにくいときは、間欠運転をすると吸い付きにくくなります。

## 調理物を取り出す

- 調理が終わったら、必ず電源プラグをコンセントから抜きます。  
※電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持ってください。
- 調理物をボトルから取り出します。



調理が終わったら、  
必ず電源プラグを  
コンセントから抜く



# 調理例と運転時間の目安

※食材の分量や運転時間は、調理する食材の状態やお好みのでき上がり状態によって異なりますので、目安にしてください。

※下記の運転時間どおりに運転しても上手に調理できないときは、様子を見ながらもう一度運転したり、間欠運転をしてください。

■ ブレンダー（定格時間：1分） ●でき上がりの量の目安は、2人分です。（マヨネーズと離乳食以外）

調理例	食 材	運転時間(目安)	食材の下準備と作りかた
マヨネーズ	卵……………1個 塩……………小さじ1/2 こしょう……………小さじ1/2 サラダ油……………130mL 酢……………大さじ1	15秒	①卵、塩、こしょう、サラダ油、酢の順にボトルに入れる。 ②ブレンダーのガードをボトルの底まで入れて、約15秒運転する。 ③乳化して白くなったらブレンダーを上下に動かし、全体をまぜ合わせる。
バナナジュース	バナナ……………2本 牛乳……………250mL はちみつ……………適宜	15秒	①バナナは、皮をむいて2cm以下に切る。 ②牛乳、はちみつ、バナナをボトルに入れて、約15秒運転する。
トマトジュース	トマト……………1 1/2個 水……………150mL 塩……………適宜	20秒	①トマト1個と半分のへたを取り除き、2cm以下に切る。 ②水、塩、トマトをボトルに入れて、約20秒運転する。
かぼちゃのポタージュ	かぼちゃ……………100g じゃがいも……………50g 牛乳または豆乳……………150mL コンソメまたは塩……………適宜	20秒	①かぼちゃとじゃがいもは、皮をむいて2cm以下に切り、やわらかくなるまでゆでる。 ②牛乳または豆乳、かぼちゃ、じゃがいもをボトルに入れる。 ③お好みでコンソメまたは塩（味付け用）を入れて、約20秒運転する。
にんじんペースト（離乳食）	にんじん……………1/2本 水またはだし汁（昆布など）……………20mL	20秒	①にんじんは、皮をむいて2cm以下に切り、やわらかくなるまでゆでる。 ②水またはだし汁とにんじんをボトルに入れて、約20秒運転する。

※ボトルの最大目盛りは600mLですが、食材や液体を入れる量はボトルの半分くらいまでを目安に調理してください。

食材や液体を入れすぎると、運転したときにあふれることがあります。

●1分以内で数回に分けて運転することができます。

（食材を入れる時間は、含みません）

※数回に分けて運転するときは、運転するごとに調理物を取り出してください。

## 必ずお守りください（運転時間）

### ■ 1分以上の運転はしない

●定格時間は、1分です。

※連続運転または間欠運転した時間の合計が1分になったら、15分以上休止してください。必ず定格時間と休止時間を守って使用してください。故障の原因になります。

# 調理アドバイス

## 【食材が切りつぶせずに残るときは】

- 構造上食材が切りつぶせずに残ることがあります。  
食材をできる限り小さく切って調理することで、残りにくくなります。

## 【ブレンダーがボトルの底面に吸い付くときは】

- ジュースなど液体が多いものを調理すると、ブレンダーがボトルの底面に吸い付くことがあります。  
吸い付いて調理しにくいときは、間欠運転をすると吸い付きにくくなります。

# お手入れと保管

※ハンドブレンダーは、食品に触れる調理器具です。

使用後は毎回必ずお手入れをして、いつも清潔な状態で使用してください。

※お手入れをするときは、けがを防止するためゴム手袋を着用してください。

- 部品によっては、お手入れで食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使用することもできます。  
※食器洗い乾燥機や食器乾燥器の使用について詳しくは、14～15ページを参照してください。

### 警告



お手入れのときは、必ず電源プラグを  
コンセントから抜く  
プラグを強く ●けが・ショート・感電の原因になります。



ブレンダーカッターは、鋭利なので直接手で触れない  
●けがの原因になります。  
◎ブレンダーを取り付けたり、取り外したり、お手入れを  
するときは、カッターに注意する。

## 必ずお守りください

※ブレンダーの取り外しやお手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

※お手入れに、食器用中性洗剤（柑橘系は使用不可）を使用したあとは、洗剤が残らないようによくふき取るか、洗い流してください。

洗剤が残っていると、変色・破損の原因になります。

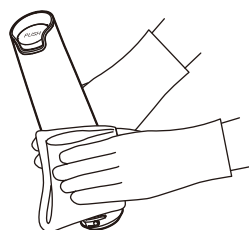
※お手入れには、シンナー、ベンジン、漂白剤、柑橘系の洗剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面を使用しないでください。

傷・変質・破損の原因になります。

## 本体のお手入れ

丸洗いできません

- 水に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、汚れをふき取ります。
- 落ちにくい汚れは、薄めた食器用中性洗剤（柑橘系は使用不可）に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。  
さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。



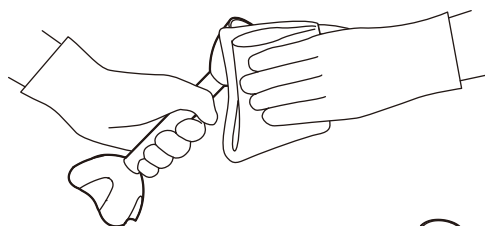
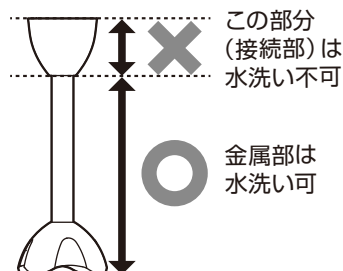
# お手入れと保管

## ブレンダーのお手入れ

部分的に水洗いできます

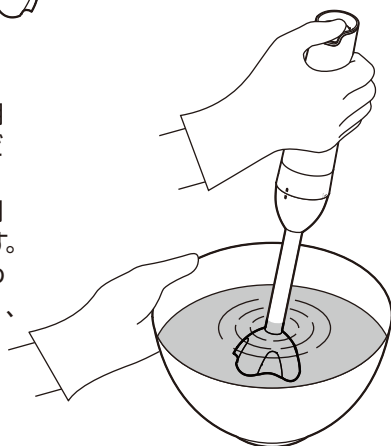
### 接続部のお手入れ (水洗いできません)

- 水に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、汚れをふき取ります。
- 落ちにくい汚れは、薄めた食器用中性洗剤 (柑橘系は使用不可) に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。  
さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。



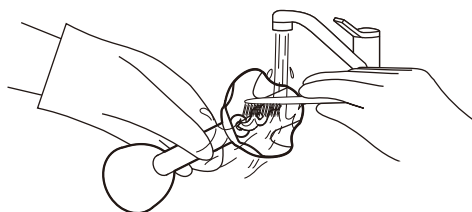
### 金属部のお手入れ (水洗いできます)

- ボウルに水またはぬるま湯 (40° 以下) と食器用中性洗剤 (柑橘系は使用不可) を少量入れ、10回ほど間欠運転して汚れを落とします。
- 落ちにくい汚れは、食器用中性洗剤 (柑橘系は使用不可) をやわらかいスポンジに含ませて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。



### ブレンダーカッターのお手入れ (水洗いできます)

- 食器用中性洗剤 (柑橘系は使用不可) をブラシに数滴付けて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、水分を切ってよく乾燥させます。

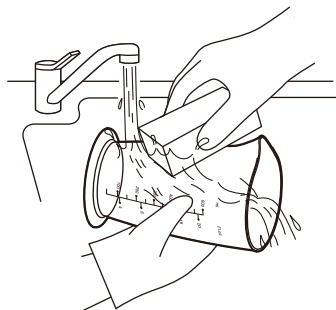


# お手入れと保管

## ボトルのお手入れ

丸洗いできます

- 食器用中性洗剤（柑橘系は使用不可）をやわらかいスポンジに含ませて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。



### お願い

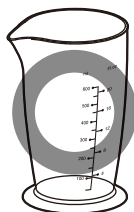
- ※食材によっては、食材の色素やにおいがボトルに付着することがあります。色素の染みつきやにおい残りを軽減するために、調理後は速やかにお手入れをしてください。
- 調理物をボトルに入れたまま長時間放置したり保存すると、色素やにおいが落ちなくなることがあります。

## 食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使用する

- ※食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使用できる部品と使用できない部品がありますので、下図（14～15ページ）を参照して使用してください。

### 使用できる部品

ボトル



### 注意

- ※ボトルは、食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使用できますが、使用する機器の取扱説明書をよく読んでから、使用してください。
- ※必ず食器洗い乾燥機用洗剤（柑橘系は使用不可）を使用してください。
- ※温風吹出口やヒーターなど部分的に温度が高くなる場所から、できる限り遠ざけて部品を置いてください。
- ※温度やコースなどの設定は、80℃以下になるようにしてください。
- 80℃以下に設定できない機器や設定温度がわからない機器は、使用しないでください。
- 変色・変形の原因になります。

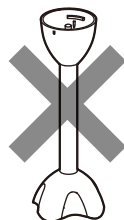


# お手入れと保管

## 食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使用する つづき

### 使用できない部品

#### ブレンダー



#### 注意

※ブレンダーは、食器洗い乾燥機や食器乾燥器での使用に適していないため、使用できません。  
変色・変形・故障の原因になります。

#### 本体



※水にぬれて故障の原因になりますので、使用できません。

## 保 管

- 保管の前は、必ずお手入れをします。
- お手入れ後は、よく乾燥させてからポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。  
(湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因になります)

#### 注意

※電源コードの根元を曲げたり、電源コードや電源プラグに力が加わるような状態で、保管しないでください。  
異常発熱・ショート・火災の原因になります。

## 仕 様

電 源	AC 100V (50-60Hz共用)
消 費 電 力	120W
定 格 時 間	1分 (1分使用ごとに15分以上休止)
製 品 寸 法(約)	幅: 65mm×奥行: 65mm×高さ: 340mm
製 品 質 量(約)	540g
コ ー ド 長(約)	1.9m

- 製品の仕様や外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 製品寸法の奥行については、コードブッシュ (製品本体側の電源コード根元部) は含んでいません。

# 故障かな?と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症 状	原 因	処置 または お知らせ
回転が遅く モーターがうる ような音をする	●食材が大きすぎたり、多すぎる状態ではありませんか?	●食材を小さく切り直したり、量を減らしてください。
	●食材が引っかかっていますか?	●引っかかった食材を取り除いてください。
	●調理禁止食材を調理していませんか?	●7ページの「調理禁止食材」を参照して、調理禁止食材を取り除いてください。
振動が大きい	●カッターが変形していませんか?	●お買い上げの販売店に、点検や修理を依頼してください。
調理物が漏れたり、こぼれたり、飛び散る	●液体や食材が多すぎませんか?	●11ページの「調理例と運転時間の目安」を参照して、液体や食材の量を調節してください。
	●液体面からブレンダーのガード部が出ていませんか?	●液体面からブレンダーのガード部を出さないように調理してください。
運転しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	●電源プラグを家庭用コンセントに、根元まで確実に差し込んでください。
	●1分以上運転したり、休止時間を守らないで運転していませんか?	●定格時間は、1分です。連続運転または間欠運転した時間の合計が1分になったら、15分以上休止してください。
運転が途中で停止する	●モーター保護装置が働いていませんか?	●食材が大きすぎたり、多すぎたり、調理禁止食材(7ページ参照)が入っているとモーターに負荷がかかり、モーター保護装置が働いて運転が停止します。これは、モーターを保護するために一時的に運転を止めているもので、故障ではありません。運転が停止したときは、6ページの「運転が途中で停止したときは」を参照して対処してください。
ボトルが におったり、変色・ 変形・ひび割れが ある	●食材、調理物、油分がボトルに付着したまま、放置していませんか?	●調理後は、速やかにお手入れをしてください。そのまま放置すると、においが取れなくなったり、変色・変形・ひび割れの原因になります。
	●柑橘類の皮をボトルに入れたり、調理していませんか?	●柑橘類の皮(リモネン成分を含むもの)をボトルに入れたり、調理すると、リモネン成分がボトルの樹脂を侵し、変色・ひび割れの原因になります。
	●食器洗い乾燥機や食器乾燥器の温度設定が高くないですか?	●食器洗い乾燥機や食器乾燥器の温度設定は、80℃以下になるようにしてください。

# 点検のお願い

安全に長く愛用していただくために  
日頃から点検をおこなってください。

## ★こんな症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  - 電源コードや電源プラグに深い傷や被覆破れがある。
  - 電源プラグが変形している。
  - 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
  - 変形や破損している。
  - 異常な音がする。
  - 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
  - 製品が異常に熱かったり、こげ臭いなどの異臭がする。
  - その他の故障・異常・破損がある。
- 電源プラグやコンセントにホコリやごみが付着している。

## ★異常があれば

### 使用中止 !!

故障や事故防止のため、  
電源プラグをコンセント  
から抜いて、必ず販売店  
に点検や修理を依頼して  
ください。

ホコリやごみを取り除いてください。

## アフターサービスについて

### ●本製品は、保証書が付いています。

お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の  
「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入を  
受けてください。

### ●保証期間は、お買い上げ日より1年です。

保証期間中の修理は、お買い上げの販売店に  
依頼してください。

保証書の記載内容により、修理いたします。  
その他詳細は、保証書を参照してください。

### ●保証期間経過後の修理（有料）については、 お買い上げの販売店に、依頼してください。

### ●本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造 打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を  
維持するために、必要な部品です。

### ●サービスパーツについて

ボトルなどのサービスパーツについては、お買い  
上げの販売店に、お問い合わせください。

## ■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取り扱いや、お手入れ  
方法のお問い合わせ、転居されたり贈答品  
などで、販売店に修理の依頼ができない  
場合は、右記へお問い合わせください。

「山善 家電お客様サービス係」  
ナビダイヤル ☎ 0570-077-078

※通話料はおお客様負担となります。  
※IP電話など一部の電話からは、利用できません。  
受付時間：10：00～17：00（土、日、祝日を除く）

FAXまたはEメールでのお問い合わせも  
受け付けています。  
その際は、製品名、品番、お問い合わせ内容、  
お名前、電話番号を記入のうえ、お問い  
合わせください。

●FAXでの  
お問い合わせは ☎ 0120-680-287  
●Eメールでの  
お問い合わせは [info\\_m@yamazen.co.jp](mailto:info_m@yamazen.co.jp)

### 個人情報の取り扱いについて

株式会社 山善およびその関係会社は、  
お客様の個人情報やお問い合わせ  
内容を、お問い合わせへの対応や  
修理、その確認などのために利用し、  
その記録を残すことがあります。  
また、個人情報を適切に管理し、修理  
業務などを委託する場合や正当な  
理由がある場合を除き、第三者には  
提供しません。

※お問い合わせのときは、保証書に記載の製品名、品番をお知らせください。

S-230427